

おわりに

金沢大学文化人類学研究室の2017年度の調査実習は、この報告書刊行をもちまして終了いたします。

本年度もまた一年を通じて調査実習を行いました。七浦地区については、『七浦村志』『七浦民俗誌』など多くの文献や資料がありますが、非力ゆえにそれらを十分に活用できなかったことは残念なことです。しかし、授業前期の4月から7月まで調査地選定と調査地についての文献調査を行い、夏休みに7日間調査地域に出掛けての本調査を実施し、授業後期の10月から3月まで、学生が自らの関心によってテーマを選んで執筆し、拙いながら報告書を完成させました。

調査の実施にあたっては、なによりも七浦地区区長会長様、七浦公民館長様、同主事様、各区長様をはじめとする地元の皆様にひとかたならぬご協力をいただきました。その他にも、ここにお名前を挙げることは控えますが、本調査の実施にあたって多くの方々の御協力、ご指導をいただきました。これらすべての方々に心より厚くお礼申し上げますとともに、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年度の調査実習報告書は、金沢大学フィールド文化学叢書第15冊として刊行いたします。

本年度実施しました調査の参加者と日程は、次のとおりです。

<調査参加者>

鏡味治也（教授）、西本陽一（教授・調査責任者）、河口雅季、河村順平（以上、人文学類生）、青山十也、小菱愛未、齋藤香菜、中野佐秀、水島清仁、宮越清圭、四日ひかり（地域創造学類生）

・予備調査

2017年

4月13日 西本

6月26日 青山、齋藤、中野、水島、宮越、四日

・本調査

8月17日～8月24日 河口、河村、青山、小菱、齋藤、中野、水島、宮越、四日

・補充調査

12月16日 西本、宮越